

事務事業名	土地利用計画推進事業				会計	一般会計		事業種別	政策	開始	13	終了	
H27担当課等名	地域計画課		H27係等名	土地利用計画係・調査計画係・開発指導係		H26係等名		土地利用計画係・調査計画係・開発指導係					
基本計画上の位置づけ	政策	8	山・里・街の魅力を高め、交流と連携によるグローバルなまちづくり										
	施策	83	計画的な空間利用の推進										
目的	対象(誰・何を)	飯田市全域						対象指標	指標名及び単位			26年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	計画に基づく土地利用が行われる							飯田市面積(km ²)				658.66
	向上させたい上位施策の成果指標	地域土地利用方針が策定された土地の面積											
目標	種別	指標名及び単位					26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	土地利用関係条例の制定数(累計)、国土利用計画、土地利用基本方針の策定数(累計)					11	11	11	11			
	成果指標	地域土地利用方針の策定数(累計)					7	7	8	12			
	定性目標												
事業概要	土地利用の目標や基本的な方針を定めるとともに、土地利用関係制度の総合的・一体的な整備を行い、計画的な土地利用を推進する事業。												
	1 土地利用関係計画(国土利用計画、土地利用基本方針、景観計画、緑の基本計画、農業振興地域整備計画等)を一体的に策定・改正する。												
	2 地域の特性や個性を生かした地域づくりを進めるため、土地利用基本方針の全体方針に即し、地域土地利用方針の策定を進める。												
	3 土地利用関係条例(土地利用調整条例、都市計画法施行条例、景観条例、緑の育成条例、屋外広告物条例、リニア新条例)を制定・改正する。												
	4 都市計画区域・用途地域・都市計画施設(道路・公園等)などの都市計画の変更決定。												
26年度事業内容	事業内容						名称			活動指標			
	1 土地利用関係条例・規則・要領の制定・改正						1 条例等制定改正数			1 2件			
	2 土地利用基本方針、景観計画、緑の基本計画の策定、改正						2 計画等制定改正数			2 5件			
	3 土地利用関係制度の普及・啓発						3 説明会等の開催数			3 3回			
	4 地区の検討組織を立ち上げ、地域土地利用方針の検討						4 地域計画・地区計画検討回数			4 30回			
	5 土地利用基本方針に基づき運用(都市計画の変更等)						5 都市計画決定・変更件数			5 0件			
	6 土地利用計画審議会及び都市計画審議会の運営						6 土地利用計画審議会及び都市計画審議会の開催数			6 2回			
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足							
事業費計(千円)①		24,654	4,562	3,836	18,397	(そ) 諸収入							
国庫支出金													
県支出金					2,819								
起債													
その他		218	210	218	210								
一般財源		24,436	4,352	3,618	15,368								
人件費計(千円)②		35,760		35,760									
正規職員所要時間		10,000		10,000									
臨時職員所要時間													
総事業費①+②		60,414	4,562	39,596	18,397								
事業内容・目標達成状況の振り返り	リニアを見据えた計画とするため、土地利用基本方針は都市施設の整備方針等について変更した。同様に景観計画及び緑の基本計画の変更も行った。また、リニア駅が設置される上郷地区について、まちづくり委員会と検討のうえ地域土地利用方針を策定した。												
改革改善の考え方	①問題点	土地利用に関わる大型事業など、今後大きく変化する状況があるため、適宜見直しを行い、適正な土地利用が図られるよう誘導を図る必要がある。											
	②改革提案	市を取り巻く状況の変化を受け、目指す都市像実現に資する土地利用計画としていくため、まずは国土利用計画飯田市計画の見直しを行う。地区の計画策定に向けた支援を継続して行う。都市計画法その他の法令に基づく制度の活用を検討する。											